

コロナ対応地方創生臨時交付金で光ケーブル未整備地区解消へ！

第108号

2020年10月25日発行
発行 上富良野町議会

表紙：東中小学校運動会

医療・介護・子育て等、コロナ対応費可決

種苗法に関する意見書を提出

かみふらの 議会だより

第3回定例会

9月開催

町政を問う！議員7名の一般質問

賛否わかれ、大激論！修正案動議提出
日の出公園駐車場用地購入費

可決

小学生、中学生もわかる

今さら聞けない議会のコト その4
YOUはどうして上富良野に？



令和2年第3回定例会は9月16日から17日までの2日間開催し、各会計補正予算、条例改正、人事案件等について慎重審議を行いました。
また、7人の議員が一般質問を行い、町の考えを問いました。

補正予算

各会計の補正予算を可決

一般会計の補正の概要は、高度無線環境整備推進事業（光ファイバー整備）、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援及び子ども・子育て交付金事業、私有林整備（森林環境譲与税活用）、公園遊具整備及び日の出公園駐車場用地購入費など歳入歳出それぞれ7億8千307万円とする補正予算を原案のとおり可決しました。

■ 9月補正予算の状況 ■

会計名	補正額	総予算額
一般会計	7億8,307万4千円	91億8,170万7千円
特別会計		
介護保険	281万6千円	10億7,072万7千円
ラベンダー・ハイツ事業	530万6千円	3億4,260万8千円
簡易水道事業	330万円	1億5,095万円
公共下水道事業	330万円	4億756万3千円
企業会計		
病院事業		
収益的支出	660万円	9億6,663万4千円
資本的支出	160万円	4,176万8千円

条例

上富良野町都市公園条例の

一部を改正する条例

日の出公園は、園内にラベンダー園、キャンプ場、スキー場及びイベント広場を有し、四季を通じて市民の憩いの広場として、また町の観光拠点として多くの方々に利用されているが、駐車場が狭いため、観光・イベント開催時には来場者に不便をかけていることから隣接する私有地を駐車場用地として購入するため、日の出公園の施設面積を改正する条例を原案のとおり可決しました。

《面積》

改正後 22.3 ha
現行 20.8 ha

上富良野町職員の給与に

関する条例の一部を改正

新型コロナウイルスの感染症から市民等の生命及び健康を保護するために緊急に行われた措置に係わる防疫等作業に従事した職員（看護師、介護士等）に、特殊勤務手当を支給する規定を加える条例を原案のとおり可決しました。

手当の額は、1日につき3千円とし、新型コロナウイルス感染症の患者若しくはその疑いがある人への接触や長時間にわたり接触して行う作業に従事した場合は、4千円とする内容です。

国の財政措置を活用し

光ケーブル 未整備地区解消へ！

光ケーブルとは高速インターネット回線で、市街地区では平成25年から供用開始となった。当町農村地区において、現在稼働しているFWA（固定無線アクセス）については、光ケーブルと比較すると通信速度において限界があることから、通信環境の更なる格差是正と安定確保に向け光ケーブルの整備が図られることになった。

人事

教育委員会委員

教育委員会委員を任命する議案が提出され、全員賛成で同意しました。

林 憲徳さん(新) 緑町1丁目

決算認定

決算特別委員会を設置

「平成31年度上富良野町各会計歳入歳出決算の認定について」及び「平成31年度上富良野町企業会計決算の認定について」は、なお十分な審議を要するため議長及び議員選出監査委員を除く12名の委員をもって構成する決算特別委員会を設置し、地方自治法第98条第1項の検査権が委任され、議会閉会中の継続審査とすることに決定しました。



意見書を国に提出しました

種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書

国民の主要食糧である米や麦などの種子の安定供給への多くの懸念事項が内包する「種苗法の一部改正案」が提出された。種苗法の改正は、北海道の農業生産にも大きく係る案件で、わが国の優良品種の海外流出を法的に規制することは極めて重要である。

優良種子の安全確保・安価供給の継続に向け、農業者が将来にわたり安心して作付できるような環境を整えること。

一、企業への主要種子の独占や許諾による事務作業の煩雑化、費用の増加などが見込まれることから、農業者が安心して作付できる環境を整えること。

二、都道府県における地域の特色を生かした種子の研究・開発などを、今までどおり国などの公的機関が責任を持って進めるよう、従来行っている地方財政措置を改正法案に盛り込むこと。

三、外資系企業における地域ブランドなど優良な国産農産物の種子の海外流出を防止するための万全な対策、制度を構築すること。

ほかに、『新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書』と『国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書』を国に提出しました。

第5回臨時会（8月6日開催）

■令和2年度一般会計補正予算（第7号）は、歳入歳出それぞれ9千375万3千円を増額する補正予算を原案のとおり可決しました。

主要な事業は

- ① 新生児特別給付金事業（600万円）
- ② 高齢者入所施設感染症対策事業（40万円）
- ③ 児童福祉施設における新型コロナウイルス感染症拡大防止事業（1千万円）
- ④ 子育て世帯応援事業（1千634万円）
- ⑤ 商工業者持続化事業補助（840万円）
- ⑥ 学校保健特別対策事業（898万円）

■特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

町職員の不祥事発生に伴う特別職の監督責任として、町長及び副町長の給与を1か月10%減額する条例改正を原案のとおり可決しました。

第6回臨時会（10月13日開催）

■町議会議員補欠選挙の実施に係る執行経費について、歳出に211万4千円を追加し、予備費から減額する専決処分一般会計補正予算（第9号）を承認し、一般会計補正予算（第10号）は、歳入歳出それぞれ、6千745万円を増額する補正予算を原案のとおり可決しました。

主要な事業は

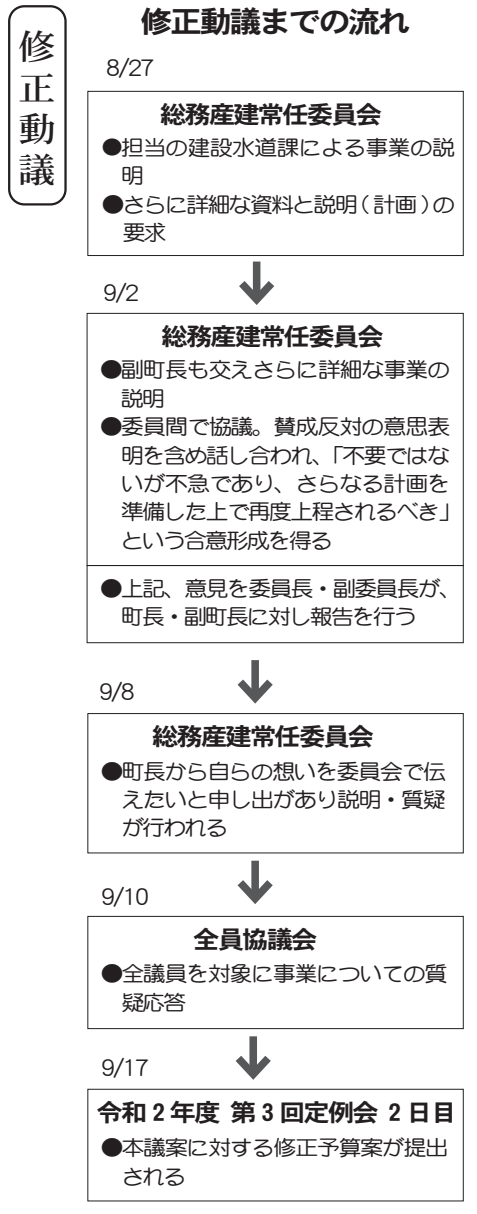
- ① 町議会議員補欠選挙に係る経費（211万4千円）
- ② プレミアム付商品券発行事業（3千820万円）
- ③ 宿泊施設等誘客促進事業（1千900万円）

土地購入予算を皆減とする修正案が否決され

日の出公園駐車場用地 購入費を可決!!

第3回定例会2日目、一般会計補正予算（第8号）の「日の出公園駐車場拡張整備事業」に関して、用地の購入時期、購入額、購入後の日の出公園活性化ビジョン等の詳細や意図の説明が不十分であるため、所管である総務産建常任委員会は現地視察を実施すると共に、定例会前の委員会以前に2度の委員会を開催した。そこで理事者側からの説明に対しての質疑をもって事業の理解を深めた後、賛成・反対を含め委員会間で協議し、土地購入の時期や必要性の見直しなどの合意形成された意見を理事者に伝えたが、これまでの理事者の考えのとおり議案が上程され、賛否は議員個々の判断に委ねられた。

○発議者 高松克年議員 荒生博一議員
○修正内容
令和2年度補正予算（第8号）、土木費の都市計画費、公園費の土地購入費4千831万円を0円にし、その4千831万円を予備費に充当する。歳入や、その他に関しては全てそのままとする。
○提案理由概要
用地取得後のアスファルト整備費、年間の維持費等、全体の事業費に対しての説明が不十分である上に、今後の利用見通しや日の出公園の魅力再生への考えも示されておらず、用地の取得のみが目的であると受け取らざるを得ない。
また、第2次観光計画では体験型観光を充実させる計画であったが、以前提案された時から観光行政に求められていることは大きく変化しており、イベント入込客数はここ5年間で半減した。更にコロナの終息が見えず、経済の先行きも見えないこの様な時期にあつては、優先順位を見極めて予算を執行すべきである。



修正動議

右記の金子議員の発議者に対する質問により、修正案に不備がある可能性等が指摘されたが、発議者から質問者の納得を得る答弁がなされなかった。

金子議員の発議者に対する質問
修正案の財源は原案との整合性がないので審議できないのではないかと。また3月に議決した使途目的が明確な公共施設整備基金を、町長の自由裁量で使うことのできる「予備費」に充てる事は議会として議決した責任を放棄しているのではないかと。

修正案は原案と併行して審議されるので、議員には修正案に関して発議者（高松議員・荒生議員）への質疑も許されている。



発議者 高松克年議員

修正案に対しての討論

反対

確かに用地の選定などには疑問も残るが、修正案に不備がある可能性を指摘した質問者に対して、発議者から十分な答弁がなされなかった。議会は筋の通った議論がなされないと後々に悪影響を及ぼしかねず、修正案に反対する。

采沢

コロナ禍を理由に今回この事業の予算を修正するのであれば、本年3月の議会で関連する用地測量費60万円を修正する提案をすべきであった。先延ばしにすれば地権者は二度と交渉の席に着いてはくれないであろう。四季彩祭りの臨時駐車場の問題解決と安全上の観点からも駐車場は必要である。

今村

第6次総合計画の中にも、常設駐車場の整備は示されているし、3月の町政執行方針でも町長直々に述べている。駐車場の整備は本町の観光振興を大きく前進させ交流人口を拡大させる。観光地としての経済効果も大いに期待できる。

小田島

これまでのコロナ関連予算の殆どが当座を凌ぐものであるが、駐車場用地買収はアフターコロナを見据えた予算であり、ITインフラと同時に重点投資する価値がある。これを契機に、行政がこれまで以上に日の出公園の再活性化に真剣に取り組むことを信じ反対する。

佐藤

賛成

一番は町民の皆さんが必要と感じているのかどうかである。11年前も具体的な計画が示されておらず否決されたが、今回も同様で当時から進歩がない。アンケート調査や意見聴取などもされず「ないよりはあった方がいい」が一般的な考えだとしても、とりあえず買って後は何とかなるでは認められない。次の町長が必要とするのなら、多くの町民の声を聞いた上で判断されるべき。

中瀬

コロナの影響で各種イベントが中止となり、今後予測がつかない中「なぜ今なのか」という質問に対し『地主と心が通じ合ったのが今だから』という町長の説明には疑問が残る。当初予算が可決された時はまだ町内での感染者が確認されておらず、その後に社会も大きく変化を余儀なくされた。3月に用地の測量費を認めたから事業に賛成すべきという反論は納得できない。

元井

町は財政的に決して豊かではない。新しい町立病院の建設費だけでも37億円が見込まれ、また他の公共施設の老朽化も顕著で耐震化に向けた改修整備など数多くの懸案事業を抱えている。コロナの影響により財政の悪化が懸念され、様々な懸案事項がある以上、次の町長に少しでも財源を残し引き継ぐのがベストではないか。

中澤

原案に対する討論

上記表決の結果、議員提出の修正案(原案から駐車場用地購入に係る予算を削る案)は賛成6【元井・佐川・高松・中瀬・中澤・荒生】、反対7【金子・米沢・佐藤・今村・小林・小田島・岡本】で否決された。その後、駐車場用地購入費や「コロナ関連補正予算を含む原案に対する討論が行われた。

原案に反対 米沢議員

駐車場用地購入費補正に関して、先ほどの数々の疑問点が提出された。その根底には町からの説明責任が果たされていないということがある。本来他の用地との比較や公示価格を比較しながら、最適な案を提案すべきである。将来の観光に寄与することは一定の評価をしているし、「コロナに関わる重要な予算に関しては否定するものではないが、曖昧な中で用地の買収には断固として反対する。

原案に賛成 金子議員

この度の補正予算においては、「コロナに関するもの、子育てに関するものがあり、また光回線の整備予算に関しては上手に組み立てて計画されている。ふるさと応援寄付モニター増設、6次産業化の新たな産業の創出を応援する部分など、「コロナ禍においてもしっかりとそれに対応するべく予算化されているので賛成する。

原案の討論・表決の結果、賛成8【元井・佐川・金子・佐藤・今村・小林・小田島・岡本】、反対5【高松・中瀬・中澤・米沢・荒生】で一般会計補正予算(第8号)は原案のとおり可決された。

一般質問

7名の議員が町政を問う

一般質問とは、年4回の定例会において議員が住民の声や自身の考えなどにより、町政全般にわたって執行者の考えをたずめるものです。

議会だよりではスペースの都合上、質問と答弁を要約して掲載しています。

詳細は後日、行政ホームページに会議録を掲載します。

議場では臨場感のあるやり取りを傍聴することができます。ぜひ、議場へお越しください。

ページ	質問議員	質問事項
7	元井 晴奈 議員	① 上富良野町「くらしの便利帳」について
8	小林 啓太 議員	① ロケサポートセンター運営について ② 登山道整備について
9	金子 益三 議員	① 商工業者のキャッシュレス促進について ② 高齢者の引きこもり対策について
10	高松 克年 議員	① 国土強靱化地域計画の策定について
11	米沢 義英 議員	① 町職員の着服問題について ② PCR 検査体制について ③ コロナ禍による支援策について ④ 少人数学級について
12	荒生 博一 議員	① 行政組織と人事管理について ② 町立病院の建設について
13	佐藤 大輔 議員	① 関係人口の創出・拡大に関する町の施策について



暮らし

—元井 晴奈 議員—

上富良野町くらしの便利帳の発行は 民間事業者が生業として行う事業である (町長)



東川町のくらしの便利帳

元井議員 行政サービスを1冊にまとめた情報誌「くらしの便利帳」を町と町外の民間事業者で官民協働事業として作成すると広報かみふらの8月号に記載されているが、官民協働事業として進めるに至った経緯は。

向山町長 企画広告を主とする事業者より、くらしの便利帳発行の提案があり、製作費用は事業者が負担し、町は行政情報を提供する等の協定を結

び官民協働事業とした。**元井議員** くらしの便利帳の発行主体は、民間事業者が行うものなのか、官民で発行するものなのか。**向山町長** あくまでも民間事業者が生業として取り組むものであり、町は行政情報を提供する立場である。

元井議員 町の費用を使わずに発行することだが、その民間事業者が町内の商工業者へ町長名で案内を持ってきて、官

民協働事業で町の事業だからという雰囲気や発行費用を広告費として募っているが。

向山町長 どのように広告事業者が商工業者に案内をしているか承知していないが、町として商工業者へ案内したものは、この刊行物が広告宣伝に活用できることを情報提供したものである。

元井議員 商工業者が町の事業として広告費を協賛依頼しているという誤解して受け止めた原因として、町長名の公文書、町章の入った民間事業者の営業担当の名刺がある。あくまでも民間事業者の事業ということであれば、そういう誤解が生じないような説明、配慮が必要では。

向山町長 一般論として、町も協働事業として関わっているということを理解してもらうには通常に行われていることで、信頼度を高めていく効果

も逆に期待できると理解している。

元井議員 町章使用も協定書にあつたのか。

向山町長 協定の項目に定義づけられている。

元井議員 町の予算を全く使わずに便利帳を発行するが、間接的には商工業者が広告費として発行費用を負担しており、こういった町が作成、全世界に配布する公共性の高いものは町の予算で発行すべき性質のものと考えらるが。

向山町長 電話帳等にあるように、民間広告事業者が広告を募って町民向けに発行することは一般的に行われており、町の費用をもって行うものは捉えていない。

元井議員 コロナ禍で疲弊して持続化給付金を受領し、ギリギリのところまでやっている商工業者に広告費を募るといふことで、時期的なところから1コマ5万円からという

金額的なところも疑問に思う。コロナの影響で今は広告を出したくても出せないといった商工業者もいて、コロナを原因とした不公平が生じる可能性があるのでは。

向山町長 あくまでもそれぞれの事業者によって判断されるもので、捉え方によっては「コロナ禍」という苦境だからこそ広告宣伝を通じて自ら経営を支えていこうと捉えることもできる。

元井議員 この便利帳が良い広告媒体になるのであれば、「コロナの影響を受けている中小企業経営者」に継続奨励金交付の対象となった商工業者への支援として、広告費を町が負担する等の考えは。

向山町長 こういった刊行物を媒体とする広告宣伝活動は個々の商工業者が判断するものと理解している。



—小林 啓太 議員—

ロケサポートセンターの役割は

映画化における活性化の 中心的な役割を担う (町長)

映画

小林議員 「泥流地帯」の撮影開始予定は。またそれまでの計画は。

向山町長 令和4年の公開を目指し、撮影は令和3年に入ってからと想定される。町民が主体となつてロケ支援を行う活動方法や各種許可、エキストラの登録、宿泊やロケ弁など準備を進めていく。また少しでも協力してもらえよう情報提供も積極的に行う。

小林議員 映画化に係るプロセスにおいて、どこまでがロケサポートセンターの役割か。

向山町長 権利関係、直接的な撮影支援、プロモーション、ロケツアーや地域振興などあらゆる場面を想定している。

小林議員 映画が公開された際には、町内でも鑑賞できるような場があることを望むが。

向山町長 町民の皆さん方はいち早く見ていただくような機会が可能であればお願いしていきたい。

小林議員 「泥流地帯」に関しては、映像化に至る過程を町独自でドキュメンタリーのようなものを制作してみたい。

向山町長 可能であれば貴重なものとなり得るので、検討させていただく。

小林議員 今後、ドローン撮影もロケ地としてのアピールポイントになると考えられるが。

向山町長 おしろ十勝岳を中心とした富良野平野のフィールドはドローン抜きの撮影は考えにくいと認識している。スムーズな撮影ができるよう万全を期していきたい。

小林議員 「泥流地帯」後は、ロケサポートセンターは小規模な団体や個人などの映像制作者のサポートも行うのか。

向山町長 そういう小さい積み重ねが町を隔々まで活性化させていく源泉なので、しっかりと支援していくよう心がける。

環境

登山道整備の予算を見直す考えは

さらに中身を詰めて 臨んでいく (町長)

臨んでいく (町長)

小林議員 現在、山岳会に登山道の整備を依頼しているが、その予算や方針に関して適宜話し合いの場を持たれているか。

向山町長 山岳会と連携し、必要な予算措置を講じながら、町が借受けている三段山登山ルートの笹刈や立木の枝払いなどの整備をお願いしている。

小林議員 三段山登山ルート以外にも山岳会の方のご厚意で、笹刈や枝払いを行ってくださっている現状を町長はご存じか。

向山町長 自主的に行ってくれていることは聞き及んでいる。

小林議員 富良野市は3つの登山道の整備に年間約400万円を予算化しており、そのほとんどが人件費であると聞き及んでいる。

向山町長 現在、上富良野では登山道整備の委託費として毎年約17万円が山岳会に支払われているが、予算の見直しも含めて山岳会と協議をしていく考えがあるか。

向山町長 作業の対価的な支援も一つの方法であると考えている。

向山町長 現在、上富良野では登山道整備の委託費として毎年約17万円が山岳会に支払われているが、予算の見直しも含めて山岳会と協議をしていく考えがあるか。

向山町長 現在、上富良野では登山道整備の委託費として毎年約17万円が山岳会に支払われているが、予算の見直しも含めて山岳会と協議をしていく考えがあるか。



足場の悪いところでの作業は危険も伴う



商
工

—金子 益三 議員—

キャッシュレス化促進の補助を 重要な施策と考える（町長）

金子議員 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、キャッシュレス決済への対応が求められている。町も昨年商工業者へ対応に向けた取り組みを行ったが、初期投資とオンラインコストに対する不安などで参加する会員が少なかつた。キャッシュレス化の促進で現在のポイントサービス事業に地域カード事業を上乗せし、住民にも商工業者にもよりよい恩恵が受けられる事業が可能となる。今後、一定期間補助を行うことで町内のキャッシュレス化促進に繋がるかと考えるが。

向山町長 キャッシュレス化促進については一連の経済対策で端末機の無償貸与や手数料補助があった。昨年商工会と地域カード導入に合わせ、支援策導入の協議を継続している。第2次商工業振興計画においても地域カード導入を検討してお

り、行政サービスとの連携も具現化を想定しているが、一定の広がりがある果を高める事から導入の時期や支援策について商工会と連携を進める。

金子議員 展開を広めることの要因として、商工業者の「自助」信販系会社の「共助」行政の支援の「公助」により加速すると考える。導入時のキャンペーンが終了してからは、販売手数料が負担に感じる商工業者も増加し、広がりを見せていない。一定期間でかまわないので集中的に支援を行うことはできないか。

向山町長 デジタル化、キャッシュレス化の流れは加速しても停滞はないと考える。キャッシュレスが購買活動で主流になりつつあることを広報し、支援策を一時講じることによって事業効果を高める事は理解し、広がりがあることが大切と考え、新たな促進策を検討する。

金子議員 今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止により、町内で行われていた小規模な集まりも制約を受け、地域で行っていた「ふれあいサロン」や高齢者の運動活動が制限されていた。高齢者は社会的に孤立してしまうと認知症が進んだりする事もある。感染防止対策を図り、短時間でも地域で集まる活動に対して行政も支援を行うことが必要であり、高齢者が集まるサークルへの活動助成や会場への補助など必要と考える。

向山町長 新型コロナウイルス感染症の重症化リスクの高いといわれる高齢者は、ご家族の往来も自粛するなどこれまで経験のない不自由な生活を余

福 祉

高齢者の引きこもり対策に支援を

地域活動の維持に 支援が必要と考える（町長）

儀なくされてきた。閉じこもりによる高齢者の社会的孤立認知症進行予防のため、感染予防対策を講じ、公共施設利用再開や各活動、事業の開催方法を見直し、3密を避け新北海道スタイルを実践している。コロナ禍において地域活動を進めるうえで活動の維持継続をするために費用がかさむ課題には支援が必要と考える。今後も高齢者の閉じこもり防止や認知症予防は地域共通の課題として新たな介護予防活動を検討していく。



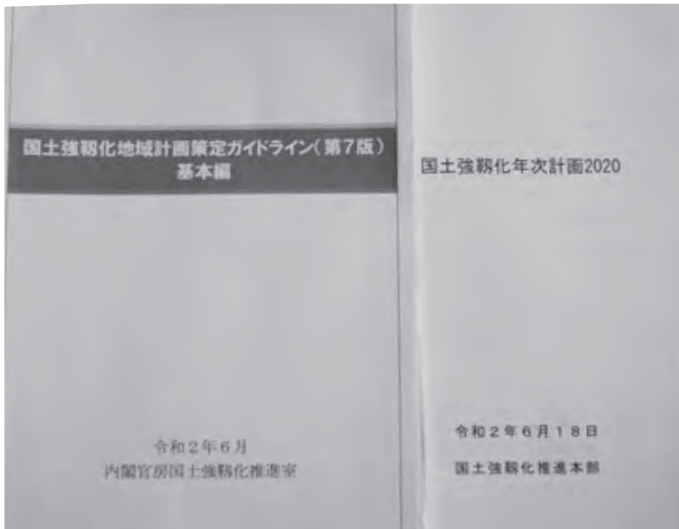
宮町で行われている認知症予防活動のようす



—高松 克年 議員—

国土強靱化地域計画の策定は 今年中の策定準備を進めている（町長）

防
災



国土強靱化年次計画 2020

高松議員

昨年第4回定例会で町強靱化地域計画の準備を進めていることが示されたが、総務省ホームページの策定済みの中に上富良野町の名がない。策定中なのか、いつなされるか。

向山町長

策定状況については、本年12月を目途に進めている。

高松議員

町強靱化地域計画の中で補助金、交付金事業に対して15のプログラムがあるが、これをもととする事業、要件化事業を強靱化計画の中で示すことが必要となるが、どのような案件を選択しようとしているのか。

向山町長 橋梁等の長寿命化事業や普通河川整備等補助金、交付金を活用している事業は採択要件として強靱化地域計画への位置づけが求められると思われ、今後の事業計画を検証して策定を進める。

る。

高松議員

なぜ早く策定を行わなければならないか、十分承知と思うが、もうすでに国は令和3年の予算集約が行われ、地域計画に重点化、要件化されていないものは傾斜配分するとしている。策定できていない自治体には配分がない旨、明記すると書かれている。必要な案件があり、策定すべきと思うが。

向山町長

国としては予防的な事業を行なっていくことが被害を少なくできるような観点に立つて、緊急的に3か年事業をもつて強靱化事業をスタートさせたが、強靱化計画に全てが縛られるものではない。ゆくゆく策定するという意思を示してほしいということですね。

これに方向性がある。急がされている状況ではないが、重点的なインフラ整備等はしっかり書き込んでいく必要があると理解している。

解している。

高松議員

台風等、自然災害が激甚化、頻発化する現状で被害をいかに少なくするか、強靱化の基盤は人命の保護、人命を失わないこと、国、地域経済において被害から立ち直れるような迅速な復旧を目指すことを重点にしている。十勝岳を抱え、いつどのような状況が起きるか、わからない状況の中、それに対して防災対策としての泥流砂防が十分なのか問われる一つと思うが。

向山町長

個々の事業計画については、強靱化計画の中で何を求めるのか、町の計画の中で何を含めていくか中身を精査した中、もれなく押さえておくべきと考えている。噴火、火山、防災についても重要な大項目と想定している。

高松議員

ここで重点化の15プログラムの中でどれを優先していくか。具

体的なところまで踏み込んでいないということか。

向山町長

基本的に計画策定が遅れている認識は持っていない。十分対応可能と思っている。

高松議員

重点化15の中で本町に合致しないのは、津波災害と東南海地震による太平洋ベルト地帯の復興等、6項目かと思われる。例えば農地、山林の崩壊等の2次災害は、この地域でも重要であり、精査が必要と思われるが見解を伺う。

向山町長

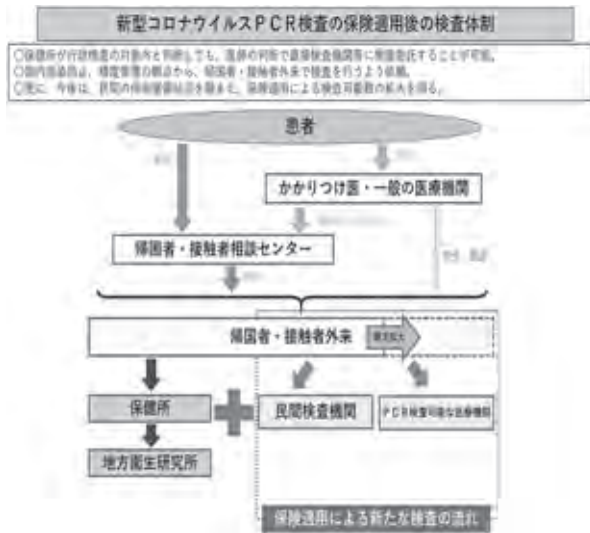
国土強靱化地域計画の中には大きくくりの中に小さな案件をぶら下げていくというのが重点化の手法として設けられている。当然町として多くをその中に含めておくことは基本であり、今15のプログラムが示されていることの意味は理解しているので、強力な強靱化計画になるように進めたいと考えている。



厚生

—米沢 義英 議員—

PCR 検査体制の拡充を 国など関係機関に要望する (町長)



新型コロナウイルスに関する Q&A 厚生労働省の HP より

米沢議員 新型コロナウイルスの感染が広がりを見せ、医師会・専門家などからも地域経済を支えるにはPCR検査体制が必要だと指摘をされ、町においても医療・介護・教育・認定こども園等に勤務する職員や利用者を優先し、町民にも検査が必要と考える。検査は、無症状者を含め感染力のある人を見つけ感染拡大を抑止し、町の安全・安心な社会を支えることになるが。

向山町長 PCR検査については、発熱症状等のある方、または陽性者との濃厚接触者に対して、医師の判断で行われている。医療・介護・教育・認定こども園・福祉施設等に勤務している方や利用されている方、並びに町民の皆様へのPCR検査については、現在国において検討されており、町独自の対応は難しいが、町民の声として関係機関へ要望する。

教育

学びと健康面からも少人数学級を 実現に向け要望したい (教育長)

米沢議員

コロナの感染

のなかで、学校も長期休業となり再開はされたが、学校や生徒、保護者からは喜びとともに不安を抱えての再開となった。学校では子どもたちの感染防止策をとりながらの授業となり、コロナ禍で教育のありようが変わりつつある。今後においても、一人ひとりの子どもたちに丁寧に寄り添い、密を避けるためにも教員や指導員の加配が必要では。

慣れ、新しい日常に定着しつつある。教職員や指導員の加配の必要性について、臨時休業中の未指導分の補習や感染予防に対する消毒対応等、増加する教職員業務の補助等のため、北海道教育委員会から、学校教育活動を支援する人材配置として、各小中学校に、学習指導員等が配置され、児童生徒に寄り添う環境の向上が図られた。少人数学級については、早い実現に向けて要望したい。

また、35人学級の拡充や20人学級など少人数学級の体制が必要では。

服部教育長 授業再開当初は、ストレスや生活リズムの乱れが見受けられる児童・生徒もいたが、現在では学校の新しい生活様式にも、徐々に

生活様式にも、徐々に



小学校の教室



— 荒生 博一 議員 —

行政

現組織体制の評価はどのようにお考えか 機能的に充実してきている（町長）



上富良野町役場の現在の組織体制

荒生議員 平成16年4月より、これまでの係制からスタッフ制を導入し、今日まで維持し続けているが、12年間で振り返り、この組織について評価はどのようにお考えか。

向山町長 私の就任時には既に現行のスタッフ制となっており、その前の係体制との直接的な比較については申し上げられないが、スタッフ制の移行前は16課65係体制として、組織を細分化した中

で業務執行が行われていたが、国の行財政改革に伴い、職員体制の見直しが行われてきた中、限られた予算、人員により効率的な行政運営を目指すべく実施されたものと認識している。評価については、良い面、不十分な面、両面あるが、機能的には就任時から見ると相当充実もしてきているし、仕事の仕方というものは定着してきていると実感している。

様々な構想や計画は、現場の職員や附属機関の委員の皆様の御意見等を十分に参酌しながら、最終的に町長において方向づけをしている。新町立病院改築に向けた基本構想についても、関係各課の職員はもとより、現場の医師や医療スタッフ、さらに町立病院運営審議会の御意見等を賜りながら策定したものであり、申し上げるまでもなく、執行機関の長として思い描く病院像を示した構想と



新病院建設に向け、今般示された基本構想

病院

基本構想に町長の思いが十分反映されているか
思い描く病院像を示した構想となっている（町長）

荒生議員 この基本構想は町長の思いが十分に反映されていると受け止めているのか。そして、町長が思い描く上富良野町に必要な病院像となっているのか。

向山町長 町が策定する

なっている。
荒生議員 住民への説明や町民の方々が期待する町立病院像の把握をいつ、どのような形で情報提供し、町民の声を聞く機会があるのか。

向山町長 この度、ま

まった基本構想は、ホームページや広報等を通じて情報提供に努めるとともに、近く、その内容説明と御意見を伺う機会を設けるよう指示をしたところである。

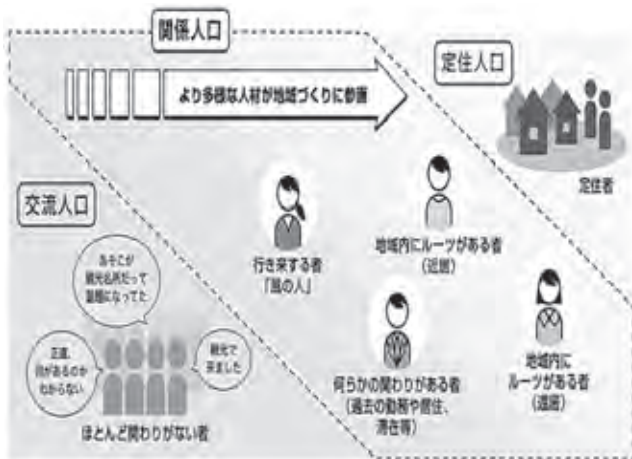


地域づくり

—佐藤 大輔 議員—

関係人口施策の今後の展開は

大いに関心を持って
重要な事項として捉えていく(町長)



※関係人口とは移住者でも観光客でもない、地域や地域の人々と多様に関わる人々を指します。

総務省「関係人口」ポータルサイトより

佐藤議員 今後関係人口

施策に期待することは、仮に人口は減少しても人材が増えるシステムの構築である。我が町の特徴を活かした一歩踏み込んだ取り組みが必要では。

向山町長 施策の展開は

事の正否を左右する重要な要素と捉えており、将来のまちづくりの源泉として期待している。今後受け皿づくりと環境整備に引き続き力を注いでいく。

佐藤議員 泥流地帯映画

化プロジェクトにおいて、町民、町外エキストラ、三浦綾子さんのファン等がさらに関係性を深めていくことが関係人口施策の具体例として挙げられるが。

向山町長 映画化プロ

ジェクトは非常に大きな意味を持つツールであり、関係者が一つになれるよう組み立てていくことは重要である。

佐藤議員 町民の中にも

コアな関係人口が増えることが我が町の活性化に必要不可欠である。一方で、転々と移り住む「風の人」のように定住を前提としない関係人口も大切にすべきでは。

向山町長 上富良野愛を

根付かせることが基本であるという考え方は共感できる。また、人生設計の中で理想に近い所に住み、その視点から見える地域づくりに対する意見を発信していく人も大切で、今後多様性が求められる。

佐藤議員 今後ワーケー

ションが一気にスタンダードになる局面への移行前移行後に、事業者が稼ぐための手助けをすることは行政の責務では。

向山町長 働き方の一つ

として定着していくものと思う。現時点で町の体制は整っていないが、今後更に前進していく必要は感じている。

佐藤議員 リモートワー

クの普及によってリターンも増え、我が町での起業を志す若者も増えるかもしれない。今後整備される光回線通信網整備を最大限活用する心づもりはあるか。

向山町長 我が町に戻っ

て活躍してみたいと思えるような町であることが基本だが、働き方を支える環境整備のノウハウが不十分であり、今後大いに関心を持って結果を出

せるよう、重要な事項として捉えていきたい。

佐藤議員 町の魅力を増

幅させるために、マンパワーを最大化するコワーキング機能を有する組織が必要だと思つが。

向山町長 そういった組

織の価値は十分認めている。具体的なイメージは持ち合わせていないが、経験則から申せば官主導には否定的な考えを持っている。



このスペースにワーケーション環境整備を予定している凌雲閣

※ワーケーションとは、仕事workと休暇vacationを組み合わせた造語で、働きながら休暇を楽しむ仕組み



らべとんと



サトル先生の

今さら聞けない議会のこと その4



いっばんしつもん ふつう しつもん なに ちが
一般質問と普通の質問では何が違う
のですか？

まえ せつめい ぎがい おも やくわり おほ
前に説明した議会の主な役割は覚えて
いるかな？



ぎあん たい さんせい はんたい いし しめ
議案に対し賛成か反対か意思を示すことでしたっけ？

◆場 所 議事室(祝場3階)
◆一般質問日 9月16日(水)、17日(木)

期日	議員名	質問事項
16日	文部 穂香	1 上富良野町「6」しの便所標記について 2 登山道整備について
16日	小科 賢大	1 はかせポイントセンター運営について 2 運動会の引きこもり対策について
16日	金子 基三	1 湖上業者のキャッシュレス促進について 2 高齢者の引きこもり対策について
16日	高松 亮平	1 国土緑地化地域計画の進捗について
16日	米沢 義孝	1 市議員の普選問題について 2 PCR検査体制について 3 コロナ禍による支障について 4 少人数学級について
17日	荒止 雄一	1 行政組織と人事管理について 2 町立病院の建設について
17日	佐藤 大輝	1 関係人口の創出・拡大に関する市の施策について

町内各所に掲示されているポスター

はんだん まえ ぎもんでん さ い
そのとおり。その判断をする前に疑問点があれば聞いて良いこと
になっていて、これが普通の質問(質疑)だね。



ちようちよう たんとうかちよう しょちよう とうべん
町長や担当課長、所長などの答弁によっ
て、より正しい判断ができますね。



右端にあるのがタイムカウンター

いっぽう いっばんしつもん ぎだい かんけい じゆう
一方で一般質問では、議題と関係なく、自由に
町長の考え方を聞くことができるんだよ。結果
として今の政策を変更させたり、新しい政策を
採用させる目的や効果があるし、議員にとって
は普段の活動の成果を発揮するとっても意義の
ある場だね。



しつもん ちようちよう たいへん
いきなり質問される町長も大変です
ね。特にルールはないのですか？



一般質問通告書

じぜん しつもん
事前にどんなことを質問するの
か「通告書」にまとめて提出す
るんだよ。1人60分の制限時
間があって、町の取り組みやお
金の使い方に関して、町民のた
めにわかりやすい質問を展開す
ることが求められているね。

つづく

議会の窓



7月28日	厚生文教常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
8月5日	第5回臨時会 総務産建常任委員会 議会運営委員会 厚生文教常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
9月2日	議会広報特別委員会 総務産建常任委員会 総務産建常任委員会 厚生文教常任委員会 総務産建常任委員会 議会運営委員会 全員協議会
9月7日	議会広報特別委員会 第3回定例会(1日目) 第3回定例会(2日目) 全員協議会
9月8日	議会広報特別委員会 第3回定例会(1日目)
9月9日	議会広報特別委員会 第3回定例会(2日目)
9月16日	議会広報特別委員会 第3回定例会(1日目)
9月17日	議会広報特別委員会 第3回定例会(2日目)
10月6日	議会広報特別委員会 第3回定例会(1日目)
10月7日	議会広報特別委員会 第3回定例会(2日目)
10月8日	上川管内町村議会議員研修会 議会広報特別委員会 全員協議会
10月9日	第6回臨時会
10月13日	議会広報特別委員会 総務産建常任委員会 富良野沿線市町村議会議員研修会 議会運営委員会
10月15日	議会広報特別委員会
10月16日	議会広報特別委員会
10月19日	議会運営委員会
10月22日	議会運営委員会

◆上川管内町村議会議員研修会に参加

10月9日に鷹栖町で上川管内町村議会議員研修会が開催され、議員12名が参加しました。

新潟県立大学国際地域学部准教授 田口一博氏による「議会を取り巻く動きから」、一般社団法人札幌農学同窓会理事 松井博和氏による「志ある若者を育てるには」の2講演を聴講しま

した。田口一博氏からは行政改革における現状や課題の中で、議員定数や報酬、成り手確保についてどう考えるべきかについてお話をいただきました。また、上富良野町出身者である松井博和氏からは、バイオサイエンス応用生命科学(オリ)糖食品の研究に貢献」という、生き物の研究をする立場から、常に変化し続ける社会に対応した人材育成として、自立し志を持った若者をどのように育てるか、対話していくことの必要性などについて御講話いただきました。



田口 一博氏



松井 博和氏

◆委員会構成が変わりました

厚生文教常任委員会委員長 中澤良隆 議員
厚生文教常任委員会副委員長 元井晴奈 議員
議会運営委員会委員 小田島久尚 議員

議会を傍聴してみませんか？

町議会では年4回、3月・6月・9月・12月に定例会を開催し、また、必要に応じて臨時会を開催しています。

議会の傍聴は、最も身近な議会活動に触れることのできる機会です。議会では住民生活に関わる様々な案件を真剣に審議しています。

また、定例会では議案のほかにも議員が行政(町長や教育長)へ質問をする「一般質問」も行なわれます。

次の定例会開会予定は…

12月16日(水)・17日(木)です

※この日程は変更になる場合がありますので、ご確認のうえ、役場3階の議場までお越しください。

お気軽にお越しください。

たくさんの方の傍聴をお待ちしています！

※傍聴にあたっては、新型コロナウイルス感染症の予防にご配慮願います。

— お問い合わせ —

上富良野町議会事務局 ☎69992

YOUはどうして上富良野に？

～UターンUターン移住者に聞く～



おすすめ ともや
大角 友哉さん
120年の歴史を持つホップ農家の長男として生まれる。
東中小、東中中、富良野高校出身。
現在3児の父で45歳。

この夏、全国のセブンイレブンで「上富良野」という名前のビールが販売されていたのをご存じでしょうか？そのビールのパッケージに顔写真入りで生産者として紹介されていた大角さんは、実は一度上富良野を離れたUターン組。親の仕事を見て、つらくて汚いという農家へのイメージを持ち、専門学校を卒業後は旭川で就職。結婚し、子供にも恵まれ、やりたい仕事をしていた充実していた大角さんに転機が訪れます。

○どんな転機があったって上富良野に戻ることになったんですか？
この頃には親も僕が実家を継ぐことを諦めて、旭川で家でも買ったらどうかと言ってくるくらいでした。ですがある日、父が体調を崩して入院するようになったんです。実家の農家は僕が継がなければなくなっし

だけでも、実家を手伝ってみようかなという気持ちになってきました。
○実際に帰ってきてきて農家の仕事をしてみてどうでしたか？
正直最初はきつかったですね。当時は36歳でもともとデスクワークが中心だったので、肉体的にきつかった。あと親と一緒にいたころも、やはり少し抵抗がありました。ただ戻ってきて3年くらいで父が亡くなってしまい、そこからは一応僕が経営者になって、とりあえず前の年と同じことをできるようにしようとするんですけど、そのあたりから徐々に心境の変化が生まれました。
○どのような変化ですか？
戻ってきて親に給料をもらってやっていく間は、誰かに使われているサラリーマンの時と大して変



わらないなという気持ちが強かったのですが、自分でやるようになってからは良い意味で自由が利くようになった。それに責任感も生まれ、昔親父が言っていたことの意味を理解するようになりました。そして結果的に収入面でも旭川で勤めていた時より良くなりました。ただ戻ってきてからはお金に対する価値観も少し変わり、贅沢するためにたくさん働くというより、家族と共にゆとりをもって暮らしていけるだけの収入でいいかなと思うようになった。そして、農家を継がずに町を離れた人に対して「絶対に継いだ方がいいのにな」と思うようになりました。

編集後記

■大角さんへのインタビューの最後に、ぜひ大角さんのお話を進路に悩む高校生とかにも聞いてほしいですねという話をすると、「たぶん高校生くらいのは頃は全くピンと来てなかったから。一度社会に出てみて、それで気づいたところが大きいというか」と言われていたのがとても印象的でした。

■また大角さんは幸いにも自分の農産物が商品化されたことで、目標が叶い大きなやりがいを感じたと仰っていました。特に直接消費者と繋がることがない農家にとっては、仕事の中にやりがいを見つけることはとても大切なことだと思っています。自分の農産物が商品化されることでやりがいになる、もしかするとそれが家族にとっても、自慢や誇りになることもあるのではないかと感じました。

(小林 記)

議会広報特別委員会

委員長	高松 克年
副委員長	小田島 久尚
委員	元井 晴奈
委員	米沢 義英
委員	佐藤 大輔
委員	小林 啓太